



2014年5月15日

各 位

会 社 名 わかもと製薬株式会社
代表者名 代表取締役社長 神谷 信行
(コード：4512、東証第一部)
問合せ先 広報室長 福原 和彦
(TEL. 03-3279-0334)

中期経営計画の策定のお知らせ

わかもと製薬株式会社（代表取締役社長 神谷 信行）は、2011年4月22日に中期経営計画を策定し、翌2012年4月20日にはこれを見直し、以来、収益力の強化と開発パイプラインの拡充等に努めてまいりました。その結果、2014年3月期末には復配を発表する等、一定の成果を収めました。

一方、開発パイプラインにおいては、マキユエイド硝子体内注用40mgの投与経路追加、効能追加の開発が加速し、上市予定が早まり、更に新たな緑内障治療薬の開発に着手する等、追加の施策を実施しつつあります。

当社は上記の環境・状況の変化を踏まえて、本日5ヵ年中期経営計画を見直し、今後の新たな3ヵ年中期経営計画を策定しましたので、お知らせいたします。

1. 経営理念

わかもと製薬株式会社は、セルフメディケーションを推進し人々の健康に対するニーズに合わせ、医療用医薬品、OTC医薬品、その他健康関連商品等、幅広い製品の開発、販売を行っていきます。

高度な技術と高い倫理観のもと、健康関連の医薬品メーカーとして長年の経験を通じ、誇りと責任を持ち続け社会に貢献します。

2. 基本方針

- 1) 特徴と競争力ある企業体質を構築
- 2) コストコントロールを徹底し、収益力を強化
- 3) 活力ある企業風土の醸成
- 4) 眼科領域の新薬開発を基本に永続的企業発展

3. 数値目標

(単位：百万円)

	2013年度 実績	2016年度	<参考：2017年度*>
売上高	10,318	11,300	12,100
営業利益	125	270	900
経常利益	376	350	980
研究開発費	926	960	780

*2016年度後半に新薬の上市予定が重なるため、参考値として2017年度の予測を掲載しました。

3. 中期経営計画中のアクションプラン

1) 営業部門

(1) 医薬

- ・ MRの戦略的教育と強靱なマネージメントの実践により、営業拠点の競争力強化を推進します。
- ・ 特約店との更なる連携強化を図ると共に病院及び保険薬局市場における当社製品の認知の確立を図ります。
- ・ マキユエイドの価値最大化に努めます。
- ・ 医家向けサプリメントの市場拡大に努めます。
- ・ 製剤特許を持ったジェネリック医薬品（カルテオロール塩酸塩 LA 点眼液「わかもと」）の早期市場拡大に努めます。

(2) 薬粧

- ・ 新製品を拡充し「わかもとブランド」を確立します。
- ・ アバンビーズ DX シリーズ（乳酸菌歯磨等）をはじめオーラルケア乳酸菌の機能的な研究をさらに進め、ブランド確立します。
- ・ 強力わかもと愛用者の拡大を図り、ダイレクトマーケティングの確立に繋がります。
- ・ 営業効率向上のための組織最適化を実施します。

(3) 特販

- ・ 当社の経営資源を有効に活用し、事業の多角化、WIN-WIN な国内外のアライアンスの拡大を推進します。

2) 生産部門

- ・ 製薬会社として安定供給、品質確保の体制を継続的に強化します。
- ・ マネージメントの強化により、生産性の向上に努め継続的に原価低減を目指します。

3) 研究開発部門

永続的企業発展の為に眼科領域の新薬開発を基本に、成長分野での長期的視点に立った研究開発を推進します。

- ・ この中期経営計画期間中、マキュエイドの適応拡大、WP - 1108 を上市し、WP - 1303 の臨床試験を開始します。
- ・ 営業戦略に沿った眼科領域のジェネリック医薬品を開発します。
- ・ OTC 医薬品、ヘルスケア製品では、「わかもと」ブランドと乳酸菌培養技術を活用した商品ラインナップを機動的に拡充します。

【新薬開発パイプライン】

品目		開発状況	上市予定時期
マキュエイド			
糖尿病性黄斑浮腫(テノン嚢下投与)	自社開発	臨床試験実施中	2016年
ぶどう膜炎(テノン嚢下投与)		臨床試験	2016年
網膜静脈閉塞症(テノン嚢下投与)		今秋開始予定	2016年
WP - 1108			
内境界膜染色	導入	臨床試験実施中	2016年
効能追加		臨床試験準備中	2016年
WP - 1303			
緑内障	導入	非臨床試験実施中	2021年

4) 全社的改善

- ・ スピード感ある経営を実践します。
- ・ 成果と努力が報われる人事運用を推進します。
- ・ 徹底的な効率運営に努め、1人当たりの生産性を高めます。

【本資料に関する注記事項】

本資料には、当社の計画、数値目標などが含まれておりますが、これらは現時点での予測であります。実際の業績等は様々なリスクや不確定要素により、大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

以上